

森林経営管理制度の取組状況について（一関市編） ～私たち現地機関は、市町の取組をサポートします！～

1 はじめに

既報（2021-31号）では、平泉町における取組と一関農林振興センターの市町への支援状況等を紹介しました。

今回は、民有林面積が県内2位かつ森林環境譲与税額が同1位の“一関市”における取組状況及び今後の取組予定を紹介しします。

2 これまでの取組

当センターでは、既報（2021-31号）で紹介した支援内容のほか、以下に記載する一関市の取組を全面的に支援しています。

一関市では、本制度の運用開始から令和3年度までに、林地台帳情報の精緻化、市内の一部区域・小規模な範囲を対象とした自力での意向調査及び意向調査結果に基づく回答傾向の分析などを実施しました。

令和3年度は、これらの取組を促進させるため、地域林業に精通した元森林組合職員1名を地域林政アドバイザーに任用し、今後の制度運用に係る実施方針や意向調査等の具体的な実施計画の策定に向けた検討を進めています。

これまでの取組の一例として、令和3年度に実施した意向調査と調査結果を下表のとおり紹介しします。

調査結果をみると、今回の調査地では回

答率が約83%と高く、また、「所有森林を全て把握」、「概ね把握」と回答した森林所有者が全体の77%を占める結果となりました。

これは、一関市内のほぼ全域で国土調査が終了しており、他の地域に比べ所有者や境界等が比較的明確になっていることや、土地所有に対する意識の高さが伺えます。また、未回答者に電話等で調査協力と呼び掛けたことが、回答率を高めた要因と考えます。

3 今後の取組予定

令和4年度は、令和2、3年度に実施した意向調査地の森林整備等に向けた取組を進めるとともに、さらに、市内の一部地域を対象とした意向調査をモデル的に実施する計画です。

また、これまでの意向調査の分析結果を踏まえ、制度運用に係る実施方針等を策定の上、令和5年度以降は、本格的に意向調査等に取り組む予定です。

4 おわりに

当センターでは、一関市が制度運用を円滑に進められるよう、森林管理システム構築推進員とともに、地域課題の解決に向けた支援を行っていきます。

（表）意向調査の概要と調査結果

〔意向調査の概要〕	
・調査範囲：	一関市大東町地内（1つの林班・林班面積約170ha）
うち調査対象(抽出後)：	面積約77ha、所有者36名（62筆）
・調査（回答）期間：	R3.9～10月の約1か月間
・調査項目数：	全8問 ※調査票に用語解説を加えるなど、回答しやすいように工夫。
〔意向調査の結果〕	
・回答率：	83.3%（30/36名）※回答期限までの回答率61%
・調査項目（抜粋）：	・回答内容
Q. 所有森林の把握状況	A. 全て把握している30%、概ね把握している47%、全くわからない23%
Q. 所有森林の管理状況	A. 自ら・委託して実施7%、何もしていない83%、その他・未回答10%
Q. 今後の経営管理の意向	A. 自ら管理13%、他者へ委託25%、他者へ売却26%、その他37%